



平成 30 年 10 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社ひかりホールディングス
(コード番号 1445 TOKYO PRO Market)
代 表 者 名 代表取締役社長 倉地 猛
問 合 せ 先 管理部部長 丹羽 直樹
T E L 0572-56-1212
U R L <http://www.h-holdings.jp>

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 30 年 5 月 16 日に公表しました業績予想を下記の通り修正いたしますので、お知らせ致します。

記

1. 平成 30 年 8 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 29 年 9 月 1 日～平成 30 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,547	百万円 64	百万円 47	百万円 2	円 銭 11.52
今回修正予想(B)	1,681	12	△ 6	△52	△218.28
増減額(B - A)	134	△52	△53	△55	
増減率(%)	8.7	△81.4	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 8 月期)	1,419	△32	△24	△ 7	△31.28

2. 修正の理由

売上高は当連結会計年度において 1,681 百万円となり、前年対比 18.5%の進展を致しました。しかしながら、建材卸売事業を手掛ける連結子会社の(株)ノベルストーンジャパンに

において、代表取締役社長として、運賃やその他のコストの上昇を販売価格へ転嫁するなどの施策を担っておりました棚橋隆治氏が期中で逝去（平成 30 年 5 月 14 日）した事で、事業の建て直しを余儀なくされた事や、タイル・石材加工販売事業を手掛ける連結子会社の㈱ケイズクラフトにおいて工場移転に伴う移設費用の増加などにより、営業利益が 12 百万円に留まりました。また、当初の予想よりも営業利益が下回った事に加え、当期は上場コストを計上した事で経常損失 6 百万円となる見通しです。更に、当期は、連結子会社である㈱ひかり工芸の従業員寮の火災損失や、連結子会社の㈱ノベルストーンジャパンの固定資産の減損損失が見込まれる事から親会社株主に帰属する当期純損失も 52 百万円となる見通しです。

以 上